

提案を求める項目と評価方法表

業務名：札幌コンサートホールほか1施設大規模保全改修事業アドバイザー業務

●実施委員審査項目（採点は「札幌コンサートホールほか1施設大規模保全改修事業アドバイザー業務に係る企画競争実施委員会」の委員が行う）

提案を求める事項	評価の視点	配点	係数	評 価				
				特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
(1) 過去の業務実績 過去10年間（平成27年度から令和6年度まで）において、国又は地方公共団体が発注する事業に係る発注者支援業務を元請として履行した実績（共同企業体により履行した業務を含む。）を有しているか（業務実績の提示上限は5件以内とする。） 特に、次の事項に該当する実績を有しているか ア E C I方式、DB方式又はP F I方式における、業務委託仕様書第2章の「3 技術協力業務の募集・選定に係る支援」及び「5 契約締結支援」に類する業務内容を含む実績 イ アのうち、E C I方式に係る発注者支援業務の実績 ウ アのうち、改修工事に係る発注者支援業務の実績	・ E C I方式、DB方式又はP F I方式における、技術協力者等の募集や選定、契約締結支援を含む発注者支援業務の実績を豊富に有しているか ・ 特に、 <u>E C I方式における発注者支援業務の実績</u> を有しているか ・ また、 <u>改修工事における発注者支援業務の実績</u> を有しているか	10	×2	5	4	3	2	1
(2) 業務計画案 本業務の目的を達成するための業務実施方針、業務全体を円滑に進められる業務体制及び業務スケジュールとなっているか 特に、業務体制については、「(1) 過去の業務実績」に示す業務を業務責任者として履行した実績を有する者や、業務委託仕様書「7 業務責任者・業務管理」に示す業務責任者に求める資格のほか、本業務に資する資格を保有している者が適切に配置されているか	・ 業務の目的を達成するための業務実施方針が示されているか ・ 業務従事者の経験、実績等の妥当性、有効性の観点から、業務全体を円滑に進められる執行体制及びスケジュールとなっているか ・ <u>過去の業務実績に示す業務を業務責任者として履行した実績を有する者がいるか</u> ・ 業務責任者に求める資格のほか、本業務に資する資格を保有しているか	10	×2	5	4	3	2	1
(3) 企画提案 次の事項について提案を求める ア 技術協力者選定において想定される課題と対処方法 イ E C I方式で改修する場合における留意点、想定される課題と対処方法 ウ 各施設の特性を考慮した、技術協力者に求めるべき技術協力内容	<u>改修工事ならではのリスク分析や対処方法を踏まえ、以下の特性を有した提案内容となっているか</u> ・ 有用性：本市の参考となる有用な事例はあるか ・ 具体性：考察内容に的確性、具体性はあるか ・ 専門性：高度な専門性・技術力等が見込めるか	30	×6	5	4	3	2	1
	<u>各施設の特性を考慮し、以下の特性を有した提案内容となっているか</u> ・ 有用性：業務目的を達成するにあたり必要かつ効果的な提案となっているか ・ 具体性：考察内容に的確性、具体性はあるか ・ 専門性：高度な専門性・技術力等が見込めるか	30	×6	5	4	3	2	1
(4) 独自提案 業務委託仕様書「2(3) 業務内容」及び上記(3)ア～ウ以外に調査・検討すべき事項や付加できる事項について、その理由を付して提案すること	以下の特性を有した提案内容となっているか ・ 有用性：業務目的を達成するにあたり必要かつ効果的な提案となっているか ・ 具体性：考察内容に的確性、具体性はあるか ・ 専門性：高度な専門性・技術力等が見込めるか	20	×4	5	4	3	2	1
	合計(委員1人あたり)	100						

※1 最終審査において、最低基準点を超えた者のうち、実施委員会委員の評価の合計点数が最も高い提案者を契約候補者とする。合計得点が同点とあった場合は、実施委員会の協議により決定する。

※2 企画提案への参加者が1者となった場合、合計得点が最低基準点に満たない場合は不採択とする。